

会議の開催結果について

1 会 議 名	平成26年行政評価市民評価委員会 【快適交流・経済活力専門部会】
2 開 催 日 時	第1回 平成26年9月19日（金）18時から19時20分 第2回 平成26年10月6日（月）14時から16時 第3回 平成26年10月7日（火）14時分から16時
3 開 催 場 所	市役所 3階 32会議室
4 会 議 の 概 要	市民評価の実施。 対象事業 別紙のとおり 15事業
5 公開・非公開の別 （理由）	公開
6 傍 聴 人 数	第1回 なし、第2回 なし、第3回 なし
7 問い合わせ先	（担当課名）総合政策課 （内線2313）
8 そ の 他	

平成26年度市民評価委員会評価結果一覧表(快適交流・経済活力部会)

事業名	部局名	課所名	番号	実施日時
地籍調査事業	建設部	都市計画課	6198-1	第1回 9/19(金)
◇ 自己評価結果	重点化する			
◆ 市民評価委員会結果	重点化する			
総括	土地開発、土地取引を円滑に進めるうえで地籍調査は重要であり、計画的に進めていく必要があるため、重点化して取り組んでいただきたい。			
他意見	民の境界で揉めて裁判になると、事業が進まなくなるため、早く地籍調査を進めてほしい。			
質疑	○地籍調査が遅れた理由は。 ○事業に伴う地籍調査と比べて、住宅地の地籍調査は難しいのか。			
新居浜市民間木造住宅耐震診断事業	建設部	建築指導課	8206-1	第1回 9/19(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)			
総括	地震に対する危機意識を持ってもらうよう、常に情報発信しながら、継続して事業に取り組んでいただきたい。			
他意見	補助事業のことを知らない市民が多いので、出前講座等での周知が必要である。徳島県では一部屋だけでの耐震工事も補助対象としている。県との協議の場で、市の方からも提案してほしい。			
質疑	○耐震診断申し込み件数が目標に達しなかった理由は。 ○耐震診断をした後、改修につながったのはどれくらいか。			
橋りょう維持修繕事業	建設部	道路課	8014-1	第1回 9/19(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	計画的な長寿命化を図り、安全に通行できるよう、継続して取り組んでいただきたい。			
他意見	特になし。			
質疑	○修繕を行えば、耐用年数はかなり延びるのか。 ○緊急性のある橋りょうはないのか。			
河又東平線改良事業	建設部	道路課	8213-1	第1回 9/19(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	本来であれば重点化して工事の進捗率を高めたいが、工事期間が限られているので、実施拡大は困難であると思われる。現状のまま継続して道路改良を進めていただきたい。			
他意見	道路の拡幅には時間がかかるので、その間は通行の仕方を検討する必要がある。			
質疑	○今年は雨が多かったが、道路周辺の傾斜部に問題はなかったのか。 ○安全に工事できる箇所から取りかかっているのか。			

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
交通安全施設整備事業		建設部	道路課	8015-1	第1回	9/19(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	市民の安全・安心につながる重要な事業であり、地域や学校からの要望に沿って、引き続き交通安全環境の整備に努めていただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○施設整備の優先順位はあるのか。 ○道路反射鏡の設置はどのような基準で行っているのか。					
中小企業振興対策事業補助金		経済部	産業振興課	7017-2	第2回	10/6(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)					
総括	今後も、本市中小企業のニーズを聞きながら、中小企業の育成・振興が図られるよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	様々な補助制度があり、目に見えて一気に変わることはないが、いい流れが生まれていると思う。					
質疑	○補助の割合はどれくらいか。 ○中小企業振興条例の改正の内容は。					
ものづくりブランド創出・支援等事業		経済部	産業振興課	7039-4	第2回	10/6(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	販路拡大につながる成果が着実に出てきている。重点化して、新居浜のものづくりを支援していただきたい。					
他意見	新居浜の技術水準は高いと思うが、全国的には認知度が低い。また、東京や大阪から多くの企業に見学に来てもらいたい。					
質疑	○ものづくりブランドとして認定を受けた企業はどんな分野のメーカーか。 ○26年度予算が拡大している理由は。					
ものづくり人材育成推進事業		経済部	産業振興課	7135-3	第2回	10/6(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	生徒だけでなく保護者にも、新居浜のものづくり産業の現状、すごさを知ってもらうことが重要である。重点化して、積極的に人材育成事業を展開していただきたい。					
他意見	小さい時からもの作りを見せて、関心を持ってもらうことは有意義である。工業高校だけでなく、普通科高校にもPRして地元への就職につなげてほしい。					
質疑	○ものづくり企業の従業員数は減っているのか。 ○地元の高校だけでなく、周辺の工業大学へもプレゼンやインターンシップを実施してはどうか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
内陸型工業用地整備事業（観音原）		経済部	産業振興課	7038-3	第2回	10/6(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	インターチェンジ付近に企業立地のニーズが高まっていることから、引き続き内陸型工業用地の整備を進めていただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○整備する面積はどれくらいか。 ○企業用地の問い合わせ状況はどうか。					
商店街活性化事業補助金（新居浜商店街）		経済部	産業振興課	7053-2	第2回	10/6(月)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	—（補助金）					
総括	課題は多いが、中心商店街の活性化、にぎわいの創出のため、現状のまま事業を継続していただきたい。					
他意見	行政主導で、街中にサービス付高齢者住宅等をつくるような指導をしてほしい。					
質疑	○中心商店街活性化計画の見直しは行っているのか。 ○商店街活性化のいいアイデアはあるのか。					
港湾・海岸（補修事業）		港務局	港湾課	116-5	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	東南海・南海地震や集中豪雨による防災対策を含めて、継続して事業を進めていただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○港町護岸の方はどうなるのか。 ○国の採択はどうなるか分からないのか。					
農業用施設修繕事業補助金		経済部	農地整備課	6032-2	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	—（補助金）					
総括	農振農用地（青地）以外でも適用される事から貴重な事業であり、現状のまま継続していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○補助制度の仕組みはどうなっているのか。 ○農業用施設の改修に対する新たな国の補助メニューはないのか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
東予流域林業活性化推進事業		経済部	農林水産課	6104-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	継続的に経費負担をして役割を発揮し、林業の活性化に取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○東予流域林業活性化センターではバイオマス発電を行っているのか。 ○この事業により、林業者の所得向上につながっているのか。					
観光宣伝推進事業		経済部	運輸観光課	7030-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	観光入込客数が増加しており、評価している。引き続きいろいろな機会を捉えて情報発信を行い、入込客の増加に努めていただきたい。					
他意見	農林水産の六次産業化事業においても、連携して観光宣伝に協力したい。					
質疑	○観光ガイドマップをどのように活用しているのか。 ○観光入込客が増えている要因は。					
デマンドタクシー導入事業		経済部	運輸観光課	2295-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	本格運行することが決定し、今後も大いに利用されるものと思われるので、継続して事業を実施していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○川西地区では運行しないのか。 ○今後の事業拡大の可能性はあるのか。					

会議の開催結果について

1 会 議 名	平成26年行政評価市民評価委員会 【環境調和・健康福祉専門部会】
2 開 催 日 時	第1回 平成26年9月18日（木）18時から19時25分 第2回 平成26年9月24日（水）14時から16時15分 第3回 平成26年9月30日（火）18時から19時35分
3 開 催 場 所	市役所 3階 32会議室
4 会 議 の 概 要	市民評価の実施。 対象事業 別紙のとおり 15事業
5 公開・非公開の別 （理由）	公開
6 傍 聴 人 数	第1回 なし、第2回 なし、第3回 なし
7 問い合わせ先	（担当課名）総合政策課 （内線2313）
8 そ の 他	

平成26年度市民評価委員会評価結果一覧表(環境調和・健康福祉部会)

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
育児支援家庭訪問事業		福祉部	保健センター	4096-8	第1回	9/18(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	安心して子供を産み育てるために必要な事業であり、また、少子化対策にもつながるので、継続して事業を進めていただきたい。					
他意見	成果指標のうち、新生児等訪問率の目標値は100%にするべきである。					
質疑	○乳幼児健康管理カードから、問題になるケースの読み取りができるのか。 ○訪問拒否のケースの対応はどうしているのか。					
がん検診等		福祉部	保健センター	4203-4	第1回	9/18(木)
◇ 自己評価結果	手段を改善する					
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する					
総括	受診啓発方法や自己負担額等の見直しを行う等、手段を改善して受診率向上に取り組んでいただきたい。また、がんの最大の原因は喫煙であるから、喫煙対策を実施していただきたい。					
他意見	集団検診受診者数の目標値は、実績から見て7,000人に増やすべきである。					
質疑	○大腸がん検診の受診率はどれくらいか。 ○パンフレット等を作成した効果はどうか。					
省エネルギー対策事業		環境部	環境保全課	4192-8	第1回	9/18(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	毎年エネルギー使用量を1%削減するのは困難になっていくと思われるが、地球温暖化の抑制につながるよう、継続して事業に取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○昨年度のエネルギー使用量が増えている理由は。 ○エネルギー使用量削減のため、何か工夫しているのか。					
環境活動推進事業		環境部	環境保全課	4174-6	第1回	9/18(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	「にいほま環境市民会議」を中心に、市民や事業者を巻き込んで、継続して環境保全活動に取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○「にいほま環境市民会議」は具体的にどんな活動をしているのか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
環境調査事業		環境部	環境保全課	4094-1	第1回	9/18(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	市民の健康な生活や豊かな自然を守るため、継続して調査を実施していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○地下水調査地点が大きく減っている理由は。 ○悪臭調査はどのようにしているのか。					
木質バイオマス間伐材安定供給整備事業		経済部	農林水産課	6228-1	第2回	9/24(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)					
総括	地元優先で地産池消を推進する方向で、引き続き支援を実施していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○どこの間伐材を利用しているのか。 ○成果目標を2.5%としている理由は。					
がけ崩れ防災対策事業		建設部	都市計画課	8093-1	第2回	9/24(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	ソフト対策の充実と併せて、市民の安全を守るため継続して事業を実施していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○土砂災害の危険箇所はどのくらいあるのか。 ○土砂警戒区域の指定等はどのように周知していくのか。					
障がい者虐待防止センター運営事業		福祉部	地域福祉課	3489-1	第2回	9/24(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	一般の人への制度周知に努めながら、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	本人や家族からの虐待の相談は少ないと思われるため、周りにどれだけ気づいてもらうかが重要である。					
質疑	○まさき育成園に委託している理由は。 ○相談者数の目標と実績に差がある理由は。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
生ごみ処理容器等設置補助金		環境部	ごみ減量課	4104-7	第2回	9/24(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)					
総括	段ボールコンポストもあるが、従来型の生ごみ処理容器は恒久的に使用でき、着実にごみ減量につながるため、継続して事業を実施していただきたい。					
他意見	各家庭で生ごみの減量ができ、良いたい肥もできるので、全市で普及するようPRしてほしい。また、地域で行う資源ごみの集団回収も、ごみの減量に効果的なので推進してほしい。					
質疑	○段ボールコンポストは何年くらい使えるのか。 ○処理容器を使用している世帯数は把握しているのか。					
清掃センター焼却灰等処理委託		環境部	環境施設課	4157-1	第2回	9/24(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	直接埋立量の削減による最終処分場の延命化を図るため、継続して事業を実施していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○県廃棄物処理センターで処理する理由は。 ○成果指標の設定根拠は。					
笑いによる健康増進事業		福祉部	介護福祉課	207-1	第3回	9/30(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	笑いによる健康増進効果があり、また、地域活性化にもつながる。より多くの人に笑ってもらえるよう、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	介護予防教室は、固定メンバーではなく、広く多くの人に参加できるよう考えてもらいたい。					
質疑	○笑いによる健康増進効果はどのように検証しているのか。 ○直接経費の内訳は。					
地域包括支援センター管理事業		福祉部	介護福祉課	183-1	第3回	9/30(火)
◇ 自己評価結果	重点化する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	高齢化社会への対応、地域包括ケアシステムの構築など多くの課題がある。高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、重点化して事業に取り組んでいただきたい。					
他意見	地域コミュニティの再生が必要であり、縦割りではなく、関係機関と連携した横断的な取り組みが必要である。					
質疑	○職員の資格、職種の内訳は。 ○ブランチの中立性の確保はできているのか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
障害児保育対策事業（私立）		福祉部	子育て支援課	3303-1	第3回	9/30(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	必要な人数の保育士を加配し、障がい児保育を充実させるよう、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	対象児童数は、成果指標としてはなじまない。					
質疑	○加配保育士数の目標と実績に開きがある理由は。 ○受け入れ対象は公に認定されている障がい児だけか。					
子ども・子育て支援総合推進事業		福祉部	子育て支援課	3493-2	第3回	9/30(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	平成27年度から施行される子ども・子育て支援制度へ円滑に移行できるよう、引き続き事業を進めていただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○子ども・子育て支援会議はどのようなメンバー構成か。 ○直接経費の内訳は。					
つどいの広場事業		福祉部	子育て支援課	3462-1	第3回	9/30(火)
◇ 自己評価結果	統合する					
◆ 市民評価委員会結果	統合する					
総括	つどいの広場事業と地域子育て支援センター事業を統合し、地域子育て支援拠点事業として、子育て中の親の育児不安や負担感の軽減につながるよう取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○26年度は事業名称、事業内容が変わっているのか。 ○子育て親子に来てもらうための広報はしているのか。					

会議の開催結果について

1 会 議 名	平成26年行政評価市民評価委員会 【教育文化・自立協働・計画の推進専門部会】
2 開 催 日 時	第1回 平成26年9月26日（金）18時から19時15分 第2回 平成26年10月1日（水）17時55分から19時10分 第3回 平成26年10月7日（火）9時30分から11時15分
3 開 催 場 所	市役所 3階 32会議室
4 会 議 の 概 要	市民評価の実施。 対象事業 別紙のとおり 15事業
5 公開・非公開の別 （理由）	公開
6 傍 聴 人 数	第1回 なし、第2回 なし、第3回 なし
7 問い合わせ先	（担当課名）総合政策課 （内線2313）
8 そ の 他	

平成26年度市民評価委員会評価結果一覧表(教育文化・自立協働・計画の推進部会)

事業名	部局名	課所名	番号	実施日時
AED普及啓発事業	消防本部	総務警防課	9073-1	第1回 9/26(金)
◇ 自己評価結果	手段を改善する			
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する			
総括	AED本体と消耗品のレンタル契約への変更により、適正な維持管理を行い、AEDの普及啓発に努めていただきたい。			
他意見	単に設置するだけでなく、効率的に運用できる方法を考えてほしい。			
質疑	○バッテリーの有効期限は適正に管理されているのか。 ○公民館等で定期的に啓発活動を実施しているのか。			
高校スポーツ強化指定校事業	教育委員会事務局	スポーツ文化課	10473-2	第1回 9/26(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	昨年度から開始した事業であり、すぐに結果は出ないと思うが、成果が上がることを期待している。今後も継続して事業を実施していただきたい。			
他意見	選手の競技力育成と人格形成の両方を併せて指導できるようにお願いしたい。			
質疑	○市内の優秀な中学生の進路状況はどうか。			
中学生海外派遣研修事業	教育委員会事務局	学校教育課	10280-1	第1回 9/26(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	生徒が夢を持って海外へ目を向けるきっかけとなる素晴らしい事業であり、今後も継続して事業を実施していただきたい。			
他意見	特になし。			
質疑	○対象を中学1年生と3年生にしている理由は。 ○研修に参加した生徒は経験をどのように生かしているか。			
いじめ・暴力から身を守る学習事業費	教育委員会事務局	学校教育課	10424-1	第1回 9/26(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	児童虐待が増加の傾向である。児童生徒の健全育成に資するため、関係団体や関係機関と連携して、引き続き事業を実施していただきたい。			
他意見	特になし。			
質疑	○小学4年生を対象にしている理由は。 ○事業費の内訳は。			

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
塩の学習館建設事業		教育委員会事務局	学校教育課	10471-1	第1回	9/26(金)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	繰越事業で今年8月に完成したものであるが、継続して一人でも多くの人に体験してもらえるようにしていただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○利用者数の目標はどのくらいを考えているのか。 ○展示の内容はどのようになるのか。					
ブックスタート実施事業		教育委員会事務局	図書館	10400-1	第2回	10/1(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	絵本に触れるきっかけ作りとして有効であり、子育て支援の面からも、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	成果指標として、絵本の貸し出し冊数が分かるようにしてほしい。					
質疑	○絵本の蔵書数はどれくらいか。 ○図書館を利用しない人への働きかけはしているのか。					
高齢者生きがい創造学園講座開設等		教育委員会事務局	社会教育課	10277-1	第2回	10/1(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	利用者が増えるように努力をしながら、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	65歳以上の人口が増加しているのに反して、利用者実人数が減少している。何らかの事業のテコ入れや見直しを行い、今後のやり方を考える必要がある。					
質疑	○人気のある講座は何か。 ○講座の受講費用はいくらかかるのか。					
公民館施設環境整備事業		教育委員会事務局	社会教育課	10134-1	第2回	10/1(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	住民の地域活動の拠点であり、避難所でもあるため、引き続き安全快適な施設環境の維持に努めていただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○平成24・25年度の投入費用が多い理由は。 ○整備事業の内容は。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
地域コミュニティ再生支援事業		教育委員会事務局	社会教育課	10475-1	第2回	10/1(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	得られた成果(ノウハウ)を生かし、関係機関と連携のうえ、引き続き地域活性化に取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○国庫補助は継続されるのか。 ○具体的な事業の実施内容は。					
少年補導委員研修事業		教育委員会事務局	社会教育課	10104-2	第2回	10/1(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	警察をはじめ関係機関との連携を密にし、引き続き非行の未然防止に努めていただきたい。					
他意見	補導委員研修の成果が、どのように生かされたのかを示してほしい。					
質疑	○どのような人が補導委員になっているのか。 ○補導の仕方はどのようにするのか。					
男女共同参画推進事業		市民部	男女共同参画課	2278-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	男女共同参画社会の形成に向けて、市役所自体が範を示しながら、企業や市民に理解を求め浸透していけるよう、引き続き取り組んでいただきたい。					
他意見	企業へお願いするだけでなく、まず市役所が女性の管理職への登用率を上げていくことが必要である。					
質疑	○女性の参画率が頭打ちである理由は。 ○事業の対象を女性への啓発から男性も含めて企業への啓発に変えていくのか。					
一般コミュニティ助成事業		市民部	市民活動推進課	2371-2	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)					
総括	自治会活動の活性化、自治会加入率の増加につながるよう、より公平な支出についての検討も進めながら、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	申請方法等について、地区連合での申請など、公平性を保てるように再度検討してほしい。					
質疑	○申請自治会の選定方法について、公平性を保っているのか。 ○自治会にはこの制度を周知しているのか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
全国「にいはま倶楽部」推進事業		市民部	市民活動推進課	2434-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	会員数の拡大を図り、市政発展のための幅広い提言、情報、支援を得られるよう、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	平成26年度は、前年度に比べ対象単位コストが増加していることもあり、ふるさと納税などの結果に結びつけてほしい。					
質疑	○会員数が前年から増えた理由は。 ○ブロック交流会の参加費はいくらか。					
防災士養成事業		市民部	防災安全課	2443-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	統合する					
◆ 市民評価委員会結果	統合する					
総括	地域の防災力向上のため、防災安全課として、主体性を持ち、新居浜市の防災をリードできるよう、地域防災力向上促進事業に統合して、実施していただきたい。					
他意見	防災士が地域の中で活きるよう、資格取得者の地域での役割や位置づけについて、目的を持った取り組みを行うべきである。					
質疑	○近隣市と比べて防災士が少ない理由は。 ○市の防災計画の中での、防災士の位置づけはどうなっているのか。					
地域防災力向上促進事業		市民部	防災安全課	2460-1	第3回	10/7(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	防災士やボランティア団体を防災計画の中でどのように位置づけるのかについても協議しながら、地域の防災力向上のため、引き続き事業を実施していただきたい。					
他意見	災害が身近なものであることを市民に意識づけるためには、校区の防災訓練などを継続して実施する必要がある。					
質疑	○防災士を増員すべきではないか。 ○防災ボランティア団体とはどういうものか。					